

ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 教授 小 林 祐 一 （こばやし ゆういち） KOBAYASHI Yuichi
所属	保 育 科
学位	教育学士（信州大学）
資格・免許	小学校教諭 1 級普通免許状 （長野県教育委員会：昭 62 小 1 普 102 号） 中学校教諭 1 級普通免許状（理科） （長野県教育委員会：昭 62 中 1 普 133 号） 高等学校教諭 2 級普通免許状（理科） （長野県教育委員会：昭 62 高 2 普 138 号）
学歴・職歴	<学歴> 1988 年 3 月 信州大学教育学部小学校教員養成課程（理科） 卒業 （教育学士） <職歴> 1988 年 4 月 長野県戸倉町（現：千曲市）立五加小学校 教諭 （1993 年 3 月まで） 1993 年 4 月 長野県上田市立東小学校 教諭（1996 年 3 月まで） 1996 年 4 月 長野県岡谷市立岡谷小学校 教諭（2001 年 3 月まで） 2001 年 4 月 信州大学理学部地質科学科 研究生 （長野県公立学校教員内地留学生）（2002 年 3 月まで） 2002 年 4 月 長野県茅野市立宮川小学校 教諭（2007 年 3 月まで） 2007 年 4 月 長野県茅野市立永明中学校 教諭（2009 年 3 月まで） 2009 年 4 月 山梨学院大学附属小学校（現：山梨学院小学校） 教諭 （2020 年 3 月まで） 2020 年 4 月 山梨学院小学校 指導教諭（2024 年 3 月まで） 2022 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 兼任講師（2024 年 3 月まで） 2024 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 教授（現在に至る） 2025 年 4 月 山梨学院短期大学 保育科長・専攻科保育専攻科長 （現在に至る）
担当科目	生活 生活科教育法 生活科概論 理科概論 理科教育法 子どもと環境 子どもと環境特論 保育内容特論（環境） 生命・地球科学入門 暮らしの中の生物学 人間生物学特論 小学校教育実習指導 小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ 卒業演習Ⅱ
専門分野	理科教育 生活科教育 地学教育
現在の研究テーマ	子どもの実感を伴った理解をうながす題材の開発と指導法の研究 保育・教育の現場における実践知の継承と体系化

競争的資金等の研究課題		—
所属学会		日本理科教育学会 日本科学教育学会 日本初等理科教育研究会 日本地質学会 日本第四紀学会
メッセージ		教育や保育というのは、子どもの育ちに寄り添う仕事であると共に、「せんせい」である自分自身も、子どもと共に学び、伸び続ける営みであるように思います。小学校の現場において、実践研究に努めたり教育実習や研修にのぞむ学生を迎え入れたりした経験をもとに、本学で学ぶ皆さんの力になれるよう尽くしてまいりたいと思っています。
教育		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
教育方針		実践の場で生かすことのできる理論とスキルを兼ね備えた保育者・教育者の養成
授業	授業の工夫	<生活> 子どもの生活を、遊びや安全の観点からいくつかのテーマに分けて取り上げ、具体の事例を考察したり学生自身が体験したりすることを通して、よりよい活動や環境づくりのあり方を考えられるよう努めた。また、毎回の授業の終盤に、取り上げたテーマに関わる感想やレポート作成の時間を確保し、各自のレポートにコメントを添えてフィードバックした。 <理科概論> 小学校の理科学習を貫く「問題解決」の考え方について、「理論の解説／具体の授業の視聴／教材研究を通じた実感・体感」の3つを組み合わせ、授業を構成した。問題解決の段階ごとに順を追って解説したり、複数の授業スタイルと対比したりすることで、基本的・普遍的な考え方をつかむことができるよう努めた。 <教育実習指導> 小学校教員としての教育実習生や研修生受入れの経験を踏まえて、実際の教育実習で直面するであろう内容を、指導内容に組み込んだ。教育実習生に期待される力を「知識技能／心構えや態度／事務手続き」の3視点にまとめ、内容を構成した。 <人間生物学特論> 生物学に関わる基礎的な知識から近年の動向を自然科学の立場から解説しつつ、価値判断や倫理的な側面からも扱うことで、知識の獲得にとどまらず思考を深めることができるように内容を構成した。さらには近未来における研究の進展と実生活との関わりを取り上げ、生命や生物学への関心が高まるよう努めた。

教育（つづき）		
2024 年 4 月～2025 年 3 月（つづき）		
授業（つづき）	授業改善のための取り組み	担当するほぼ全ての授業で毎回、①配布する要項で全体像を提示し、②90 分間を 2～3 つのまとまりに分け、③最後に理解と思考を問うリフレクションペーパー記入の時間を設けた後、④一人一人にコメントを記入して次回以降に返却、という構成を基本としている。①②によって学生が 90 分間の内容と現在扱っている内容の位置づけを明確に把握し、③④の繰り返しによって 8 回または 15 回の授業内容についてスモールステップで力を伸ばすことを意図したものである。 また、現場における実践のイメージをもつことができるよう、保育や教育の場における事例や記録を日ごろから収集して数多く紹介した。さらには、子どもの興味・関心やつまづきを具体的に想定したり、保育者・教育者としての活動計画や配慮事項に考えを巡らせたりすることができるよう、ものづくり等の活動を実際に体験することを重視している。
	ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）	<卒業演習Ⅰ> 前半は各ゼミ共通の数理・データサイエンス・AI 教育プログラムを中心に取り組み、後半は、2 年次に計画的に卒業レポートに取り組むことができるよう、次年度の各時期の見通しや執筆の仕方の共有に努めた。
	卒業レポート・修了研究テーマ	—
課外活動	—	
2024 年 3 月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文）査読付 幼保小の接続の視点から見た小学校「生活科」教科書の比較分析 ～「虫」を対象とした活動に関する「問いかけ」への着目～ （単著）	2025 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 45 巻 山梨学院短期大学
（その他：学会発表） 6 年：理科「物の燃え方」を先行学習で展開すると （単独）	2024 年 8 月	NP0 法人授業高度化支援センター 第 13 回授業高度化セミナー
2024 年 3 月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 探究プロジェクトの最前線 国際バカロレア（PYP）の理論と実践 （共著）	2022 年 3 月	一藝社
（著 書） 探究 諏訪の自然 （共著）	2017 年 2 月	諏訪教育会
（著 書） わかる授業の指導案 80 （共著）	2013 年 8 月	芸術新聞社
（著 書） 小学校理科室経営ハンドブック （共著）	2011 年 4 月	東洋館出版社
（著 書） 諏訪鉄山記録 （共著）	2011 年 3 月	諏訪鉄山の歴史保存をすすめる会
（著 書） 教えて考えさせる理科 小学校 ー基礎基本の定着・深化をはかる習得型授業の展開 （共著）	2010 年 4 月	図書文化
（著 書） 学びを支える活動へ ー存在論の深みから （共著）	2010 年 4 月	東信堂
（著 書） 日本地方地質誌「中部地方」 （共著）	2006 年 1 月	朝倉書店

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 新しい発展学習の展開 理科 小学校 5 ～ 6 年 （共著）	2005 年 5 月	小学館
（著 書） 子どもがのってくる楽しい理科の導入の工夫 （共著）	2003 年 5 月	農文協
（著 書） 上田市誌 自然編（1）上田の地質と土壌 （共著）	2002 年 3 月	長野県上田市，上田市誌刊行会
（著 書） 真田町誌 自然編 （共著）	1997 年 1 月	長野県小県郡真田町（現上田市） 真田町誌刊行会
（学術論文） <u>査読付</u> 幼少期における自然体験に関する実態調査と幼保小の接続に関する考察 （単著） <外部リンクあり>	2023 年 3 月	山梨学院短期大学研究紀要 第 43 巻 山梨学院短期大学
（学術論文） 小学校における STEM 教育を指向した授業実践と考察 （単著） <外部リンクあり>	2016 年 8 月	日本科学教育学会年会論文集 40 巻
（学術論文） 新設教科「科学科」による科学的リテラシーの育成 ～理科教育の成果の継承と課題の克服～ （単著）	2016 年 4 月	初等理科教育 会報電子版 No. 611
（学術論文） 空間的な広がりの実感をうながす野外観察－「砂」を窓口にした，地学分野の新たな学習の試み－ （単著）	2012 年 11 月	初等理科教育 Vol. 46 No.11
（学術論文） 子どもの内に認識の系統性を培うための 2 つの視点 － 5 学年：電流の働きを例に－ （単著）	2010 年 10 月	初等理科教育 Vol. 44 No.10
（学術論文） 5 学年：おもりのはたらきにおける科学史を位置づけた導入とその成果 （単著）	2010 年 3 月	初等理科教育 Vol. 44 No. 3

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 総説：地質学的・工学的視点から見た諏訪鉄山と“湯鉄鉱”～郷土の地質資源の産状とその利用～ （単著）	2009 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 44 集
（学術論文） 諏訪市湖南地域における守屋層火山岩部層 （単著）	2009 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 44 集
（学術論文） 総説：北部フォッサマグナ、中新統守屋層に関する従来の研究と今後の課題 （単著）	2008 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 43 集
（学術論文） 守屋層から見出されたペペライトとその産状 （単著）	2008 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 43 集
（学術論文） 理科授業における“語らい”の意義－6 年「大地のつくりと変化」を通して－ （単著）	2007 年 4 月	理科の教育 Vol. 56 No. 4
（学術論文） 今、求められる“統合”と“バランス”－先行学習をめぐる論争の整理－ （単著）	2006 年 11 月	初等理科教育 Vol. 40 No. 12
（学術論文） 下葛木周辺の小断層に関する予察的調査～糸魚川－静岡構造線断層系の“破碎の程度”～ （単著）	2003 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 41 集
（学術論文） 地層の剥ぎ取り標本の制作法と教材としての意義 （共著）	2004 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 39 集
（学術論文） 茅野市金沢に見いだされた断層露頭 （単著）	2003 年 3 月	諏訪教育会 自然研究紀要 第 38 集
（学術論文） 飯縄山・摺鉢山のひん岩（2） （単著）	2003 年 3 月	上田・小県 第 133 号 （小県上田教育会）

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 「適用の場」「説明活動」の魅力と問題点－ 5 年「物の溶け方」の実践を通して－ （単著）	2003 年 2 月	初等理科教育 Vol. 37 No.2
（学術論文） 飯縄山・摺鉢山のひん岩 （単著）	2002 年 11 月	上田・小県 第 132 号 （小県上田教育会）
（学術論文） 願いやめあての実現に向けた活動が連続・ 発展し、豊かな心情を育む生活科学習－ 2 年「手紙」の扱いに関わる試みと考察－ （単著）	2001 年 3 月	日本初等理科教育研究会 研究紀要 第 76 号
（学術論文） ゲンジボタルの飼育法 （単著）	1992 年 2 月	研究誌 更埴 No.20 （長野県 更埴教育会）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画： 「with コロナの状況下においても、自然や 科学と関わる体験を重ね、学ぶ喜びや価値 を感じる子ども」の育成をめざして （共著）	2022 年 1 月	2021 年度ソニー子ども科学教育プロ グラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画： 「with コロナの状況下においても、自然や 科学と関わる体験を重ね、学ぶ喜びや価値 を感じる子ども」の育成をめざして （単著）	2021 年 1 月	2020 年度ソニー子ども科学教育プロ グラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：活動報告） 低中学年児童も防災・減災に関する知識に 日常的に触れることができる学習環境づく り （単著）	2021 年 3 月	減災教育プログラム実践活動報告書 （2020 年度第 7 回アクサユネスコ協 会）
（その他：講演） 「諏訪鉄山 ～地質学的・工学的に見ると ～」 （単独）	2019 年 11 月	「諏訪鉄山を知る」講座 （長野県茅野市公民館講座）

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：講演） 「ハヶ岳山城のジオパークの可能性を探る」 （単独）	2019 年 10 月	「ハヶ岳とジオパーク シンポジウム」（メルヘン街道協議会／ちの観光まちづくり推進機構／佐久穂町観光協会／小海町観光協会）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画：「自然や科学・技術に関わる体験を重ね、知ることの喜びを感じる子ども」の育成をめざして （共著）	2018 年 12 月	2018 年度ソニー子ども科学教育プログラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：活動報告） 自然や科学と豊かな関係を築く素地を培う「土壌を対象とした学習プログラム」の開発 （共著）	2018 年 12 月	公益財団法人中谷医工計測技術振興財団 平成 30 年度科学教育振興助成成果発表会 （東京都：フクラシア丸の内オアゾ）
（その他：活動報告） 富士川：石の旅・砂の旅 ～水がつなぐ、陸と海の物語～ （単独）	2018 年 2 月	公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所 第 5 回全国海洋教育サミット （東京大学）
（その他：フォーラム登壇） 小学生の科学的リテラシー育成を目指した新教科：科学科における教育課程、指導方法及び評価方法の研究開発 （単独）	2017 年 1 月	文部科学省第 13 回研究開発学校フォーラム （東京：学術総合センター）
（その他：学会発表） 小学校における STEM 教育を指向した授業実践と考察 ー理科教育の課題克服を目指す研究開発学校の取り組みー （単独）	2016 年 8 月	日本科学教育学会 第 40 回年会 （ホルトホール大分）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画：自然や科学の学びを楽しむ子どもの育成のための“プラン 2012” （共著）	2012 年 12 月	2012 年度ソニー子ども科学教育プログラム （公益財団法人ソニー教育財団）

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画：自然や科学の学びを楽しむ子どもの育成のためのプラン 2011 （単著）	2011 年 12 月	2011 年度ソニー子ども科学教育プログラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画：科学が好きな生徒を育てる永中理科“ワン・ツ－・アタック”構想 （単著）	2008 年 12 月	2008 年度ソニー子ども科学教育プログラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：シンポジウム登壇） 教えて考えさせる議論を新たな一步を踏み出す契機に （単独）	2007 年 2 月	筑波大学附属小学校「学習公開・初等教育研修会」 （東京都）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画：生涯にわたる課題解決力の育成を通して （単著）	2005 年 12 月	2005 年度ソニー子ども科学教育プログラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：教育実践記録） 科学が好きな子どもを育てる教育計画：生涯にわたる課題解決力の育成を通して （単著）	2004 年 12 月	2004 年度ソニー子ども科学教育プログラム （公益財団法人ソニー教育財団）
（その他：セミナー登壇） 知識定着をめざす単元構成－5 年「物のとけ方」の実践を通して－ （単独）	2003 年 12 月	第 20 回日本初等理科教育研究会「冬季セミナー」 （神奈川県箱根町）
（その他：学会発表） 長野県中新統・青木層未固結堆積物に貫入した岩脈周縁部に生成したペペライトの産状垂直変異 （単独）	2001 年 9 月	日本地質学会 第 108 年学術大会 （金沢大学）
（その他：学会発表） 子供達と調べる私たちの大地 （単独）	1998 年 9 月	日本地質学会 第 105 年年会 （信州大学）
（その他：教育実践記録） 人間のもつ可能性の開発をめざす教育 （単著）	1997 年 12 月	第 42 回ソニー教育資金 （財団法人ソニー教育振興財団）
（その他：教育実践記録） 人間のもつ可能性の開発をめざす教育 （共著）	1996 年 12 月	第 41 回ソニー教育資金 （財団法人ソニー教育振興財団）

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2024 年 4 月～2025 年 3 月
・山梨学院短期大学免許法認定講習 講師「保育内容特論（環境）」（2024 年 8 月 20 日～21 日）
2024 年 3 月以前（主なもの）
・長野県茅野市公民館講座「諏訪鉄山を知る」 講師（2019 年 11 月） ・長野県メルヘン街道協議会／ちの観光まちづくり推進機構ほか 「諏訪鉄山見学会」 講師（2019 年 11 月） ・長野県メルヘン街道協議会／ちの観光まちづくり推進機構ほか 「八ヶ岳とジオパーク シンポジウム」 講師（2019 年 10 月） ・静岡大学 さくらサイエンスプラン 「STEM 教育実践」 講師（2016 年 1 月） ・長野県茅野市立八ヶ岳総合博物館 企画展 「諏訪鉄山」 企画担当者・実験教室講師および講演（2009 年 7～11 月） ・日本理科教育振興協会「キッズワンダークラブ（おどろきの実験教室）」東日本会場 講師 （2005 年 7 月） ・諏訪理科学研究会／諏訪教育博物館 「霧ヶ峰自然観察会」 講師（2004 年～2008 年） ・諏訪理科学研究会／諏訪教育博物館 「諏訪湖自然観察会」 講師（2004 年～2008 年） ・長野県上田市 「上田市誌 自然編」 執筆委員（1994 年～2002 年） ・長野県小県郡真田町（現上田市） 「真田町誌 自然編」 執筆委員（1994 年～1997 年）
受賞 ※個人、所属団体
・内田洋行「令和 3 年度教職員発明考案懸賞」 奨励賞受賞（空気の温まり方実験装置） （2022 年 5 月） ・ソニー教育財団「2021 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 奨励校受賞（執筆者） （2022 年 1 月） ・ソニー教育財団「2020 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 優秀校受賞（執筆者） （2021 年 1 月） ・ソニー教育財団「2018 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 優秀校受賞（執筆者） （2018 年 12 月） ・ソニー教育財団「2012 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 優秀校受賞（執筆者） （2012 年 12 月） ・ソニー教育財団「2011 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 優秀校受賞（執筆者） （2011 年 12 月） ・ソニー教育財団「2008 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 努力校受賞（執筆者） （2008 年 12 月） ・ソニー教育財団「2005 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 努力校受賞（執筆者） （2005 年 12 月） ・ソニー教育財団「2004 年度ソニー子ども科学教育プログラム」 努力校受賞（執筆者） （2004 年 12 月） ・日本初等理科教育研究会「紀要第 76 号」執筆論文 優良賞受賞（2001 年 10 月） ・ソニー教育振興財団「第 42 回ソニー教育資金」 努力校受賞（執筆者）（1997 年 12 月）